

いよいよキャンプの時期です！

アメリカとフィリピンのサマーキャンプ支援募集開始。締切5月25日(木)



今、世界で起きているのは、戦争と銃による暴力といったものばかり。私たちが関わる子どもたちには、憩いの時が必要です。子どもとして純粋に楽しむ時間が必要なのです。

しかし、子どもたちを日常から連れ出しキャンプに参加させるためには、あなたの助けがどうしても必要です。この夏、子どもたちを笑顔にするために、あなたの力が必要です。無理のない範囲で構いませんので、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

子どもたちを支援して、この夏を子どもたちにとって忘れられない夏にしましょう！

日本の子どもたちにとっても、夏休みのキャンプなどは忘れられない貴重な体験になります。しかし、スラムから出られない子どもたちにとって、清潔で安全な美しい施設の中で食事の心配もせずに過ごすキャンプ体験は、支援者がいなければ決して体験することのできない特別な恵みのときです。

ご支援いただけます場合は、同封の申込用紙をご覧の上、ネットやお電話、FAX などご都合の良い方法でお申し込みください。

まだ十分時間がありますので、ご検討をよろしくお願いいたします。

*夏休みの間、子どもが別の場所に預けられていたり、親の承諾が得られない、子どもの体調が悪い、その他の理由で、参加できない場合のご意向もお知らせください。

プライバシー保護のため、写真と記事は直接関係ないものを使用しています。



スマホでのお申込はこちらから⇒ 
PCからは、
<https://metroworldchild.jp/summer-camp/>

締切
5月25日(木)



フィリピン学習支援

お申し込み締め切り4月25日(火)

アメリカ&フィリピンキャンプ支援

お申し込み締め切り5月25日(木)

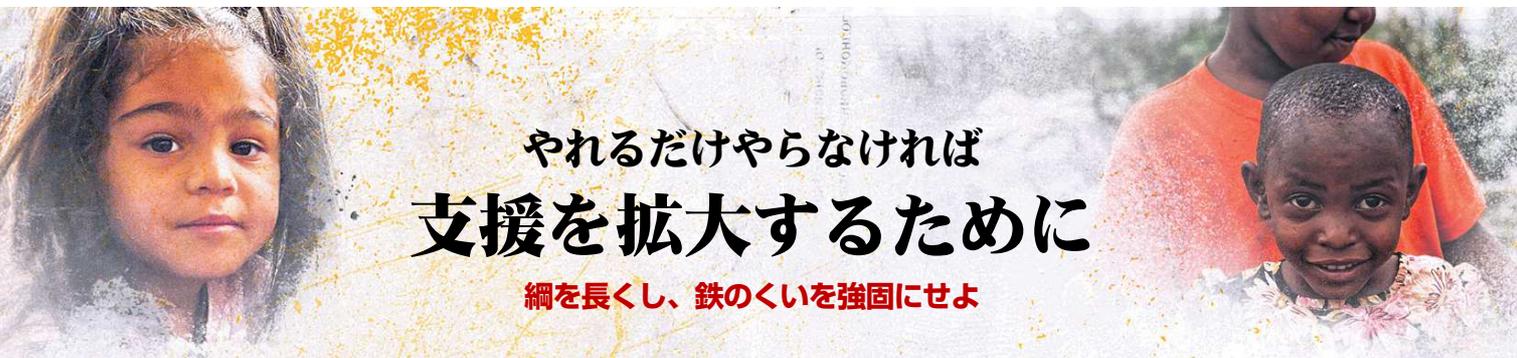
今月の引き落とし日！4月17日(月)です。

今月号の目次

P2…子どもたちの現状

P3…ビル師の記事より／イースターのお礼

P4…日本事務所からの重要なお知らせ



やれるだけやらなければ 支援を拡大するために

網を長くし、鉄のくいを強固にせよ

その知らせに私たちは、みぞおちをこぶしで殴られるような衝撃を受けました。メトロ・ケニアのスタッフから、近隣の町に住む4人の男の子についての報告の電話でした。そこはメトロがまだ活動を始めていない地域で、4人とも食べるものがなく長いこと飢えに苦しんでいましたが、ついに我慢の限界を超えてしまいました。希望が見えない…空腹による腹痛は対処方法がない…そして4人は、首を吊って自殺をしてしまったのです。さらに痛ましいのは、こんな話を聞くのは、これが初めてではないということです。

だから私たちはこの活動をしているのです。

だからより多くの子どもたちへと支援を拡大する必要があるのです。

だからあなたのご協力がとても重要なのです！

メトロの使命の中心は、イエスの生と死、復活の事実を通して、自分たちに注がれる神の希望と愛を子どもたちに理解させることです。しかし飢餓状態の子どもたちは、その前に神の愛を身体で実体験することでしか、それを学べないのです。

私たちが活動する地域には必ず、慢性的な飢餓に苦しむ子どもたちがいます。一週間で一度しか食事できない子、盗んだりゴミ箱から拾ったりしたわずかな食料で食いつないでいる子。フードバンクの統計によれば、ニューヨーク市でさえ、飢餓状態にある子どもの数はコロナ禍の前より 55% 増加しています。

あなたの思いやりが命を救うのです！ この危機的状況を理解して行動を起こすあなたのような友のおかげで、メトロはアメリカ、ケニア、フィリピンをはじめ世界各地で、栄養のある食事と人生を救うための福音をより多くの子どもたちに届けています。

そして、今年もあなたのご協力で、これまで以上の人数の子どもたちの支援を行います！

「空っぽの器」をなくすために

**あなたがフィリピンで子どもたちの心と身体を
満たして下さっています**

フィリピンのイスラ・ポテン・バトにあるメトロ日曜学校の会場の外に、一人の小さな男の子が立っていました。日曜学校が終わって会場を片付けていた時、空の器を手にしたその子が出口のところにいるのに気づいたのです。来るのが遅くて日曜学校に間に合わなかったのに、その場に立って待っていたのです。

フィリピンのメトロでは、教会学校に参加した子どもは、チラシと交換でタグをもらい、終了後、そのタグを持っている子どもに、持ってきた器いっぱいのごはんとおかずが配られるのです。

でもその子は、会場に入るには日曜学校のチラシが必要だと思ったようで、あきらめて近くのゴミ箱を漁り始めました。その必死な様子を見てメトロスタッフはすぐにその子を持って、持っていた器に日曜学校の残りのごはんとおかずを入れてあげました。その日、食べ物を手に入れることができたその子は、とても感謝していました。

空っぽの器も、空っぽの心も、見たくありません。

あなたが思いやりの心を継続して示してくださるお陰で、さらに多くの飢えに苦しむ子どもたちを霊肉共に満たすことができます！



**アーメン！
ありがとう。**

「こんにちは、ビル先生！」



今年2月に行われたニュージャージー州の韓国系教会での特別集会の後、会場の後ろのテーブルにいたビル牧師のところに、ある紳士がやってきました。礼拝の後、ビル牧師とお話したい人はたくさんいます。「あれからもう20年になります…」と、彼は言いました。

なんと彼は、20年前に強盗に襲われ、銃弾で顔に大けがを負ったビル牧師を手術した外科医、ユ先生だったのです。

それはブルックリンのウッドハル・メディカル・センターの救急救命室でのことで、ユ先生は口腔外科での勤務2年目で、その夜は救急の当直だったのだそうです。

「あなただったんですね！ありがとうございます、先生…。私の命を救ってくれて、本当にありがとうございます！」

ビル牧師の顔には涙が流れ落ち、その声は、感謝と感激に溢れていました。

「私は撃たれた後、自分で車を運転して病院の救急救命室に飛び込みました。教会のバンの床には血が吹き出していました。一瞬、もう助からないか？と思いました。自分が大変なことになっていて、大量に出血しているのがわかったからです。」

この再会を見ながら、私の鼓動はとても速くなり、20年前のあの発砲事件の新聞記事が頭の中を駆け巡っていました。あの夜、ビル牧師の命を救ってくれた人に会えるなどとは思ってもみませんでした。

しかし、ビル牧師がピルグリムミッション教会で講演することを知ったユ先生は、車で1時間半かけて集会に参加したのです。

「長い間ずっと、あなたがどうしているのか知りたかったのです。」とユ先生はおっしゃいました。「緊急手術の翌日、あなたはどうしても仕事に戻りたいと言われて退院してしまったので…。あんなトラウマになるような事件の後遺症を、どうやって乗り越えたのかわかりませんでした。」ユ先生は続けました。「その時は、あなたのことを理解していませんでした。でも、今は分かります。」

私は、ビル牧師の本でその銃撃事件のことを読みましたが、それが突然、目の前でよみがえったのです。メトロでフルタイムで奉仕するためにブルックリンに引っ越してから、今ここで経験していることと本に書かれていることとの関わりを確認するために、何度も何冊も本を読み返しました。ビル牧師とメトロの物語は、今もニューヨークの地で日々生きています。

ビル牧師は、病院へ向かう車の中で、「主よ、もし私を生かしてくださいなら、やり残しているすべての事柄について、最後まで私のすべてを尽くして、もっともっとあなたに仕えます…」と祈っていました。確かに彼はそうしてきましたし、今もそうです。

あの銃撃事件からちょうど20年になりますが、ビル牧師とメトロの物語はまだ、常に、「つづく…」です

いつもご支援ありがとうございます！

—メトロ・スタッフより

イースターバスケットの
ご支援に感謝します。

皆様にとっても
祝福されたイースターと
なりますように！



皆様のご支援により、日本からは、94個のイースターバスケットをプレゼントすることができました。

心から感謝申し上げます。

上のQRコードから、イースターバスケットの準備の様子をショート動画で、ご覧いただけます。

毎年、ボランティアの方々と共に、メトロスタッフが大量のプレゼントをセットしています。

日本事務所からの重要なお知らせとお願い

！引き落とし日が変わります！

現在口座引き落としをご利用いただいております皆様へ、**重要なお知らせ**がございます。

手続きを依頼している業者の都合により、口座の引き落とし日が、**5月から変更**となります。

毎月27日となり、土日祝日の場合は、翌営業日になります。

従いまして、変更後第1回目となる5月のお引き落としは、27日が土曜日ですので、5月29日(月)になります。

ほかの引き落としと同じような日になると思いますので、口座の残金にくれぐれもご注意ください。ご不便をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。**4月は今まで通り**です。

インターンシップ制度

メトロのNY本部とフィリピン、ケニアの事務所では、各国から集まってくる、教会奉仕者を指す人々に、教会学校のスタッフとしての学びと現場の活動に直接関わって学ぶことのできるインターンシップ制度を準備しています。

コロナ禍で日本からの出入国が難しく、3年以上ご案内しておりませんでした。海外では制限が大幅に緩和されていますので、すでに本格的に再開されています。

今回の受付は、今年の初夏と来年の春になります。ご興味のある方は、ビザの取得も必要になりますので、早めに日本事務所にお問い合わせください。英語での学びとなりますので、申込やオンライン面接も全て英語で行われます。

！違いを生み出す月曜日！

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしくお願いたします。コロナや戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、ケニアでは、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。現地を訪問した若いスタッフは、その悲惨さを目撃して、「違いを生み出す月曜日」のキャンペーンを立案。一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと努力しています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



日本事務所よりごあいさつ！

桜も満開を過ぎましたが、主の恵みの中、美しい季節を満喫しておられることと思います。

いよいよ日本でも、コロナ禍を脱却し、本格的にコロナ後の生活を始める時を迎えます。復活の主の御力を得て、コロナで追った全ての負の重荷を振り払って余り有るほどの勢いある生活を始めてまいりましょう。

4月はフィリピンツアーに出かけますので、来月号ではそのご報告ができますことを楽しみにしています。

皆さんの中には、新しい場所、新しい生活環境で新年度を迎えられた方も数多くいらっしゃると思います。どこにいて何をしようとも、新しい生活が主によって大いに祝福され、恵み豊かな日々となりますようお祈り申し上げます。

祝福されたイースターとなりますように！

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6

橋ビルII 7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン